学校番号	３０６

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「　書Ⅰ　」　（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・行書から入り、筆の弾力を使いこなし、ひらがなを含めた様々な書体を体験し、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート 個人評価表	観察 レポート ワークシート 個人評価表 提出作品	観察 レポート ワークシート 個人評価表 提出作品	観察 レポート ワークシート 個人評価表 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書へのいざない 書写と書道 筆の性能 線の表情	・国語科書写と芸術科書道 ・用筆と運筆 ・書は象徴線	○		○		a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:用具・用材の用い方を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:芸術としての「書」に関心を持ち、様々な書表現を理解している。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品
	漢字の書(行書による学習)	・リズム、呼吸の理解 ・表現 ・漢字一字創作 ・相互鑑賞会	○	○	○		a:行書の美について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:行書のリズムのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品
	漢字の書(臨書「蘭亭序」)	・名人の技の読み取り 「背勢と向勢」 「起筆」 「気脈」 「空間」	○		○	○	a:王羲之の書と人について、理解を深めようとしている。 b:字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。 c:字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。 d:蘭亭序の字形や用筆の特徴を理解している。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品
2学期	漢字の書(書道コンクールに挑戦)	・半紙4字書き	○	○	○	○	a:構成を工夫すること関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:効果的に表現するため、分間布白を工夫している。 c:効果的に表現するため、分間布白を工夫して表現することができる。 d:分間布白を工夫することで、構成ができることを理解している。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品

2学期	篆刻	・自分の名前調べ（篆書体） ・名前の2字朱文印の制作	○		○		a:名前の篆書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:篆刻の準備と手順について理解し、名前印を刻すことができる。 d:篆刻の意義や手順について理解している。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品
	漢字仮名交じりの書 生活の書	・印を生かした正月飾りと絵手紙風年賀状	○	○	○		a:制作した印を生かしたくらしの中の書に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている b:正月飾りや年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:正月飾りや年賀状の基本的な表現方法を理解し、暮らしの中に書を生かすことができる。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品
3学期	自由課題 展覧会鑑賞レポート （大阪府高校書道展）		○			○	a:同世代の書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:同世代の書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	レポート
	仮名の書	・仮名の変遷 ・仮名の用筆・運筆 ・極みの技 「起筆　（順筆と逆筆）」「転折」「太細」「切返し」「の」「と」「回転」	○		○		a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 d:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 個人評価表 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。